

日本言語学会第 147 回大会 プログラム

会 長
大会運営委員長
大会実行委員長

梶 茂樹
藤代 節
武内紹人

期 日：2013 年 11 月 23 日（土・祝）、11 月 24 日（日）
会 場：神戸市外国語大学 〒651-2187 神戸市西区学園東町 9-1

Tel：078-794-8161（外国学研究所）

Fax：078-794-8160（大会実行委員長 武内紹人 宛）

E-mail：lsj147kcufs@gmail.com

共 催：神戸市外国語大学

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮下さい。
※キャンパス内は指定の場所以外での喫煙は禁止されています。

—— 第 1 日（11 月 23 日） ——

午前中	評議員会 (評議員の方はご出席下さい。詳細は別便の案内をご参照下さい。)	本部棟 2 階大会議室
12:00—	受付・大会予稿集販売	研究棟玄関ホール
13:00—18:00	口頭発表（詳細は 2-3 頁にあります。)	学舎 1 階、2 階、3 階
18:15—20:15	懇親会	学生会館 食堂

—— 第 2 日（11 月 24 日） ——

9:30—	受付・大会予稿集販売	研究棟玄関ホール
10:00—12:00	ワークショップ（詳細は 4 頁にあります。)	第 2 学舎 501, 502, 503, 504 教室
11:30—12:50	ポスター発表（詳細は 5 頁にあります。)	学舎 1 階 103, 105, 107 教室
13:00—13:20	会長挨拶／開催校挨拶（船山仲他 神戸市外国語大学学長） 日本言語学会学会賞授賞式	大ホールおよび 第 2 学舎 505 教室（映像中継）
13:20—16:30	公開シンポジウム 「日本語研究とその可能性—音韻・レキシコン/語彙・文法をを中心に—」 【企画・司会】 益岡隆志（神戸市外国語大学） 「濁りの表示と不透明性—2 種類の有声表示による透明化—」 田中伸一（東京大学）[S-1] 「個別言語的視点から見た日本語の形態音韻論—連濁と濁音化、語頭濁音形—」 高山知明（金沢大学）[S-2] 「「名詞＋動詞」型複合語の統語範疇と意味カテゴリー」 由本陽子（大阪大学）[S-3] 「漢語の分類を考える—複合字音語基分類再考—」 斎藤倫明（東北大学）[S-4] 「言語類型論から見た日本語文法研究の可能性と挑戦課題—主節と従属節の相互作用を中心に—」 堀江薫（名古屋大学）[S-5] 「世界の言語研究に貢献できる日本語文法研究とその可能性—「する」言語と「なる」言語、高コンテキスト言語と低コンテキスト言語の再検討を中心に—」 野田尚史（国立国語研究所）[S-6]	大ホールおよび 第 2 学舎 505 教室（映像中継）

公開シンポジウムはどなたでもご参加いただけます。

■口頭発表（11月23日(土) 13:00-18:00）

	A会場(学舎103教室) 司会：[1-2]今里典子 [3-4]川澄哲也 [5-6]定延利之 [7-8]斎藤倫明	B会場(学舎105教室) 司会：[1-2]野村益寛 [3-4]田村幸誠 [5-6]田中英理 [7-8]三藤 博
13:00-13:30	[A-1] 高嶋 由布子 日本手話の非手指移動表現についての一考察	[B-1] 貝森 有祐 英語における結果産物指向結果構文
13:35-14:05	[A-2] 原田 なをみ, 高山 智恵子 日本手話における「いる」「ある」交替と叙述の種類	[B-2] 森 博 「N 難民」の意味拡張：メンタル・スペースの観点から
14:15-14:45	[A-3] 中野 尚美 山西方言における果摂一等韻母の歴史的音韻変化	[B-3] Ryan SPRING, Naoyuki ONO Cognitive Typology and Second Language Acquisition Beyond Motion: The Effects on Change-of-State Framing
14:50-15:20	[A-4] 程 莉 孤立的反復の文法的理解—日本語と中国語のVN型合成的表現を例に—	
15:20-15:40	休憩	
15:40-16:10	[A-5] 蔡 薫婕 「だけ」と「ほど」に見られる比例のあり方の違い— 一定量化という観点による考察—	[B-5] 三山 美緒子 部分構造の分類について
16:15-16:45	[A-6] 今野 弘章 イ落ち構文をめぐる二つの視点 —全体か部分か—	[B-6] 水谷 謙太 量化の副詞と個体レベル述語
16:55-17:25	[A-7] 山口 貴也 日本語における二重他動詞由来他動詞の統語構造と意味	[B-7] 東寺 祐亮 ホドを用いた程度表現の解釈と構造
17:30-18:00	[A-8] 吉田 健二, 島崎 冬彦 日本語「XはYがZ」構文の主語と述語の尊敬語化	[B-8] 水口 志乃扶 一般量理論と日本語

	C会場(学舎107教室) 司会：[1-2]滝浦真人 [3-4]酒井 弘 [5-6]小泉政利 [7-8]岸田文隆	D会場(学舎201教室) 司会：[1-2]那須紀夫 [3-4]星 英仁 [5-6]越智正男 [7-8]福島一彦
13:00-13:30	[C-1] 黄 郁蕾, 玉岡 賀津雄, ブラーエヴァ・ マリア・エドアルドヴナ 依頼の断り難さを構成する諸要因 —一日中の文化差と 日本語学習に着目して	[D-1] Sumiyo NISHIGUCHI Negative Polarity Item in Dhaasanac
13:35-14:05	[C-2] 林 可奈子 英語の慣習的依頼表現と談話の流れ：“Do you want to …?” や “Would you like to …?” を用いた依頼の分析	[D-2] Lina BAO, Megumi HASEBE, Hideki MAKI A Comparative Study of Japanese and Mongolian Nominals
14:15-14:45	[C-3] 山田 敏幸, 広瀬 友紀 「最後の手段としての再解析」再考：日本語の関係節修 飾曖昧性における任意の再分析	[D-3] Hideki MAKI, Naohiro TAKEMURA, Megumi HASEBE Accusative Case in the History of Japanese
14:50-15:20	[C-4] ギンズバーグ ジェイソン, ウィルソン イアン, 金子 恵美子, 小笠原 奈保美 会津方言に於けるイントネーションと終助詞の関係	[D-4] Fumikazu NIINUMA, Hideya TAKAHASHI The Syntax of Spontaneous Sentences in Japanese Dialects and its Implications for the Structure of vP
15:20-15:40	休憩	
15:40-16:10	[C-5] 巽 智子 L1 言語獲得における複合動詞「Xスル」のプロソディ ーとチャンク化	[D-5] Paul Julian SANTIAGO Topicless constructions asthetic statements in Tagalog
16:15-16:45	[C-6] トウ エン, 田中 幹大 日本語受動文における構造的プライミング効果 —文組 立て課題を用いた検討—	[D-6] 山本 恭裕 移動表現から見たタガログ語の他動性とヴォイス
16:55-17:25	[C-7] 黒沢 晶子, 崔 絢喆 音象徴の普遍性と個別性 —韓国語オノマトペの韓国 語・日本語母語話者による判断から—	[D-7] 林下 淳一 Pair-list readings：日本語に基づく考察
17:30-18:00	[C-8] 小山内 優子 中期朝鮮語の補文節について	[D-8] 金子 真 日本語の接尾辞タチ・ラの複数性と特定性について

	E 会場(学舎 203 教室) 司会：[1-2]寺田 寛 [3-4]立石浩一 [5-6]岸本秀樹 [7-8]宮本陽一	F 会場(学舎 205 教室) 司会：[1-2]沈 力 [3-4]プラシヤント・パルデン [5-6]塚本秀樹 [7-8]河内一博
13:00-13:30	[E-1] 辰己 雄太 日本語数量構文の統語構造	[F-1] 姚 碧玉 現代中国語の剰余否定 — 「差点」と「難免」を中心に
13:35-14:05	[E-2] 吉村 理一 抜取りを認可する副詞節の統語分析——通言語的観点から——	[F-2] 高橋 清子 中国語とタイ語の移動表現の類型論タイプ
14:15-14:45	[E-3] 石野 尚 多層 vP 仮説に基づく受動文の格吸収	[F-3] デヒピティヤ スランジ ディルーシャ シンハラ語における授受補助動詞と結び付く前項動詞について
14:50-15:20	[E-4] 秋庭 大悟 名詞的モダリティ表現の解釈について	[F-4] 山部 順治 オリア語における二重目的格制約
15:20-15:40	休憩	
15:40-16:10	[E-5] 木戸 康人 福岡方言における「バイ」「タイ」の統語的分布	[F-5] 池 玫京 韓国語の <i>neunde</i> と日本語のケドについて
16:15-16:45	[E-6] 小田 博宗 日本語自由選択表現の分布と統語構造	[F-6] 丁 仁京 韓国語の〈連体修飾節+名詞〉構造における語形成の位置づけ—日本語との比較—
16:55-17:25	[E-7] 徐 佩伶 中国語における CQWC 構文について—非移動分析から	[F-7] 巴雅尔都楞 モンゴル語の <i>ene</i> について —日本語のアノとの対照—
17:30-18:00	[E-8] 矢田部 修一 非構成素等位接続に関する句構造文法に基づく分析の優位性を示す更なる証拠	[F-8] 副島 健作 動作主が不特定の人為的事態の表現—日本語の受動構文とロシア語の不定人称文—

	G 会場(学舎 208 教室) 司会：[1-2]藤家洋昭 [3-4]柿木重宜 [5-6]福嶋教隆 [7-8]米田信子	H 会場(学舎 308 教室) 司会：[1-2]三間英樹 [3-4]神山孝夫 [5-6]岩井康雄 [7-8]本間 猛
13:00-13:30	[G-1] カフラマン バルシュ, オズベッキ アイ ドゥン トルコ語における再帰代名詞の解釈に関する一考察	[H-1] 小林 由紀, 杉岡 洋子, 伊藤 たかね 規則適用としての連濁：事象関連電位計測実験の結果から
13:35-14:05	[G-2] 新田 志穂 現代ウイグル語の分詞について	[H-2] 杉本 貴代 幼児期の連濁獲得を規定する諸要因の検討—有標性の原理と語構造の影響をめぐって
14:15-14:45	[G-3] 梅谷 博之 モンゴル語の名詞・形容詞・副詞の区分	[H-3] 渡部 直也 ロシア語の硬口蓋化にみる子音・母音間の相互作用
14:50-15:20	[G-4] 佐藤 暢治 保安語積石山方言における一人称複数代名詞の包括形と除外形—その区別と逆転—	[H-4] 松井 真雪 対立が“不完全に”中和した語の音声知覚：ロシア語の語末無声化の事例
15:20-15:40	休憩	
15:40-16:10	[G-5] 石塚 政行 バスク語レクンベリ方言における自動詞分裂の意味的・形式的動機	[H-5] 橋本 大樹 マレー語におけるフットの正体：3つの音韻的証拠から
16:15-16:45	[G-6] 吉田 浩美 バスク語アスペイティア方言の〈ABS - V - AUX〉の構造と再帰行為・相互行為	[H-6] 田端 敏幸 後部要素が二字漢語の複合語アクセントについて
16:55-17:25	[G-7] 長屋 尚典 タガログ語の動詞接辞 <i>ma-</i> の多義性：自発、意図成就、可能、受身	[H-7] 平田 秀 三重県尾鷲市方言の単純動詞アクセントと‘第三の式’
17:30-18:00	[G-8] 倉部 慶太 ジンポー語方言のサブグループピングに向けて	[H-8] 佐々木 冠 波崎方言における有声重子音回避

■ワークショップ (11月24日(日) 10:00-12:00)

第2学舎 501	[W-1] 語彙意味論の潮流：様態・結果の相補分布仮説とその先に見える世界 企画：江口 清子 司会：由本 陽子 コメンテーター：岸本 秀樹
	[W-1-1] 「手段」を表す動詞における様態・結果の解釈 境 倫代
	[W-1-2] 見せかけの結果から見る様態・結果相補分布仮説 臼杵 岳
	[W-1-3] イベント統合の種類から見る様態・結果の相補分布 江口 清子
第2学舎 502	[W-2] レキシコンと CP システムのはざま 企画：長谷部 郁子 司会：長谷部 郁子
	[W-2-1] 語彙的モダリティ表現としての「V+-てくる」表現 長谷部 郁子
	[W-2-2] 時制の一致の視点から考えるCPとレキシコンの関係 本多 正敏
	[W-2-3] 日本語における「感覚文」と主要部移動 神谷 昇
第2学舎 503	[W-3] Current Issues in Sign Language Studies (手話言語学の最近の関心領域) Organizer : Editorial Committee (Linguistic Society of Japan) 企画：日本言語学会編集委員会 Workshop Moderator : Norie OKA 司会：岡 典栄 Commentator: Susan FISCHER コメンテーター：スーザン・フィッシャー * The languages used in this workshop are English and Japanese Sign Language. Interpretation will be provided in these languages. (このワークショップでの使用言語は英語と日本手話です。ワークショップ中は両方の言語で情報が提供されます。)
	[W-3-1] Commands in Turkish Sign Language (トルコ手話における命令) A. Sumru ÖZSOY (A.スムル・オズソイ), Meltem KELEPİR (メルテム・ケレピル), Derya NUHBALAOĞLU (デルヤ・ヌフバラオール), Emre HAKGÜDER. (エムレ・ハクギュデル)
	[W-3-2] On the Structure of wh-final Clauses in Japanese Sign Language (日本手話における wh-final 文の構造について) Asako UCHIBORI (内堀 朝子), Kazumi MATSUOKA (松岡 和美)
	[W-3-3] Perceptive Non-manual Markers in Japanese Sign Language (知覚を表す日本手話の非手指標識 (NMM)) Yasuhiro ICHIDA (市田 泰弘), Takeshi NOGUCHI (野口 武史)
	[W-3-4] Expressing Modality: A Descriptive Study of Japanese Sign Language (手話のモダリティ表現：日本手話の記述的研究) Hitomi AKAHORI (赤堀 仁美), Uiko YANO (矢野 羽衣子), Kazumi MATSUOKA (松岡 和美), Norie OKA (岡 典栄)
第2学舎 504	[W-4] 標準語との接触による方言アクセントの変化 企画：窪菌 晴夫 司会：窪菌 晴夫 コメンテーター：上野 善道
	[W-4-1] 鹿児島方言におけるアクセントの変化 窪菌 晴夫
	[W-4-2] 長崎方言におけるアクセントの変化 松浦 年男, 佐藤 久美子
	[W-4-3] 大阪方言における外来語アクセントの変化 田中 真一

■ポスター発表 (11月24日(日) 11:30-12:50)

A会場 (学舎103教室)	[P-1] 大和 祐子, 玉岡 賀津雄, 初 相娟 中国人日本語学習者の「人」を表す接尾辞を含む複合語彙の習得に及ぼす諸要因
	[P-2] Kyoko HAYAKAWA, Rinus VERDONSCHOT, Katsuo TAMAOKA Asymmetrical Phonological Activation When Recognizing Words in a Second Language
	[P-3] 日高 晋介 ウズベク語の動名詞-(i)shによる連体修飾
B会場 (学舎105教室)	[P-4] Dónall P. Ó BAOILL, Hideki MAKI Cad é an dóigh 'how' in Irish
	[P-5] 團迫 雅彦 上昇調文末表現「～くない」の文法化と統語構造
	[P-6] シルフィア ウィジャヤ, 堀江 薫 連体修飾節におけるインドネシア語の di-受動態の統語的・語用論的特徴－日本語との比較を通じて－
C会場 (学舎107教室)	[P-7] 平川 八尋 日本語の数量詞遊離と限定解釈
	[P-8] ダン ティ ホン ゴック ベトナム語の反事実条件表現における接続詞 <i>nêu</i> と <i>già</i> の特徴について
	[P-9] 山木戸 浩子 英語に「役割語」は存在するのか？
	[P-10] 田川 拓海 「シダイ」の節構造：時制・動名詞・格

《会場へのアクセス》

I. 新幹線利用の方

東海道新幹線・山陽新幹線・九州新幹線で新神戸駅へ下車後、神戸市営地下鉄西神・山手線で学園都市駅へ(約25分)⇒下車後、南東方向に徒歩3分

II. 飛行機利用の方(IVも合わせてご覧ください)

神戸空港 空港着後、ポートライナーで三宮駅へ(約20分)⇒IVへ

大阪国際空港(伊丹空港) 空港着後、リムジンバスで三宮駅へ(約40分)⇒IVへ

関西国際空港 空港着後、リムジンバスで三宮駅へ(約70分)⇒IVへ

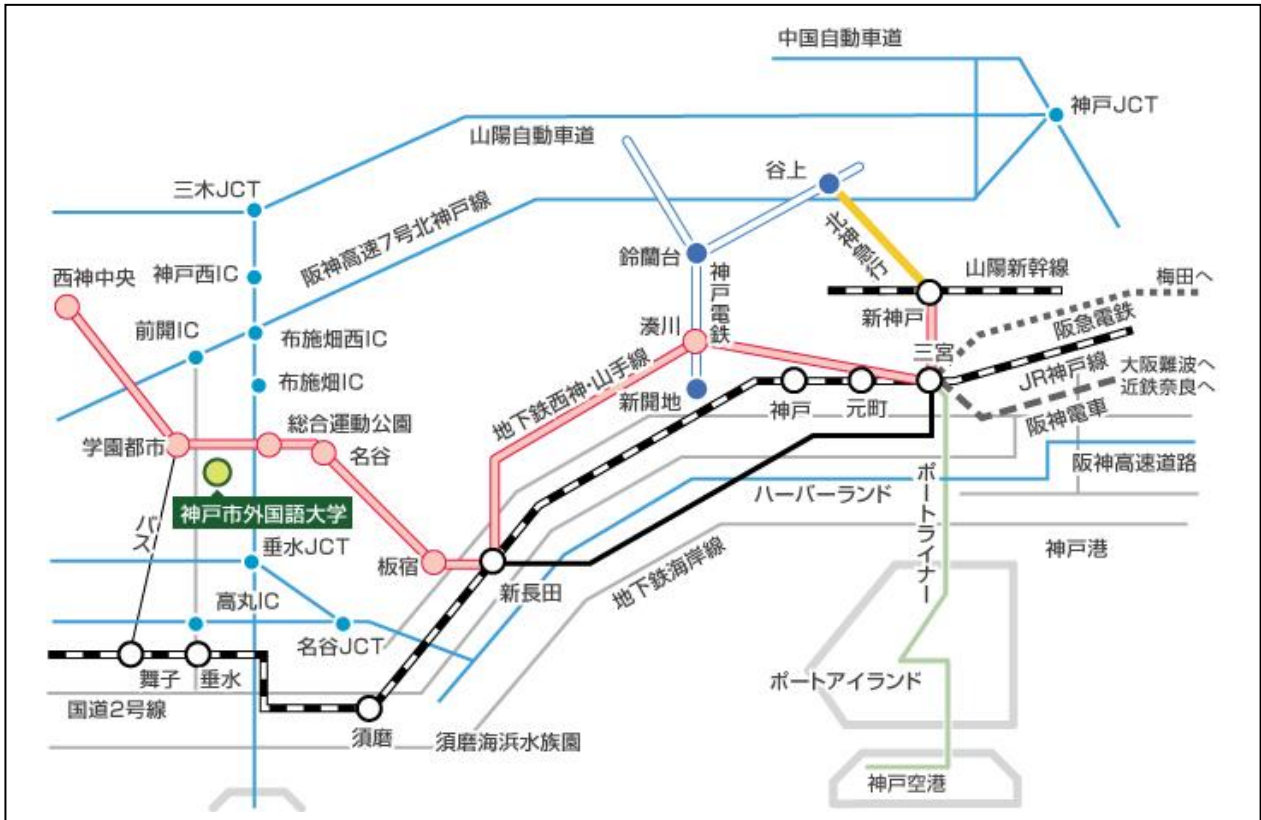
III. 高速バス利用の方(IVも合わせてご覧ください)

各地から高速バス→三宮駅へ⇒IVへ

IV. 三宮駅/三ノ宮駅(阪急・JR在来線・阪神・ポートライナー・高速バスターミナル)から

神戸市営地下鉄西神・山手線で学園都市駅へ(約23分)⇒下車後、南東方向に徒歩3分

神戸・三宮地区から神戸市外国語大学までのアクセス

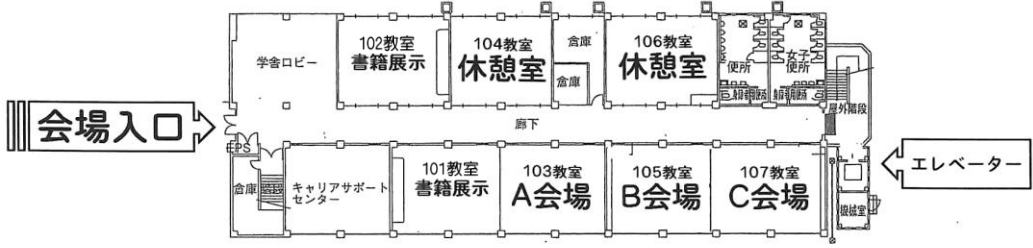


神戸市外国語大学キャンパス 建物配置図

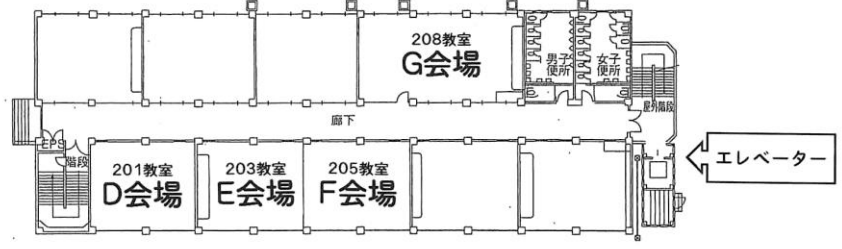


会場平面図

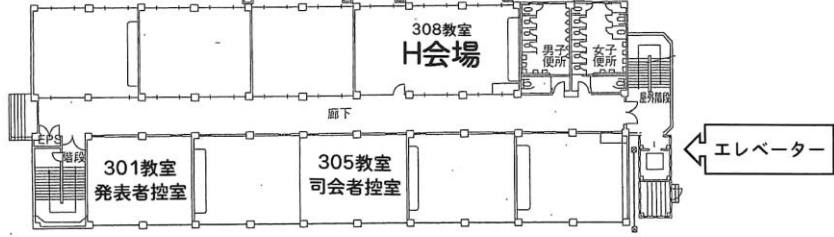
学舎1F



学舎2F

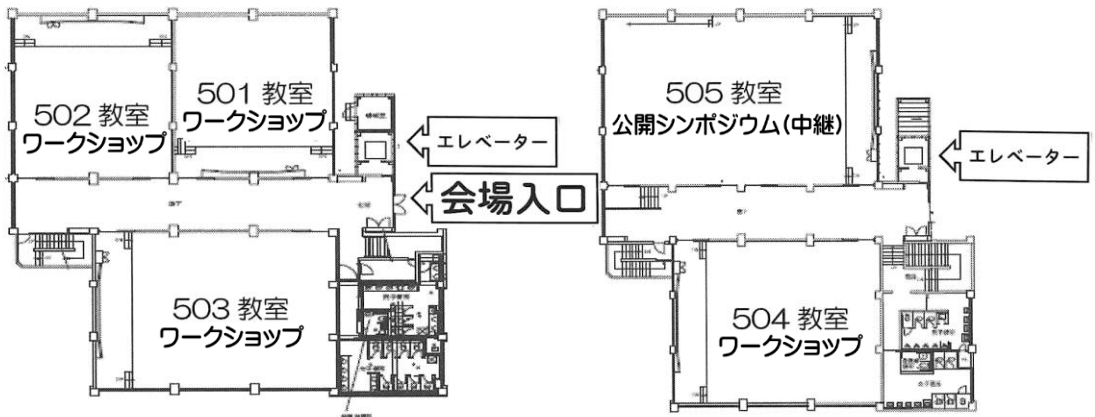


学舎3F



第2学舎1F

第2学舎2F



お知らせ

◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記し切手を貼った返信用封筒を同封の上、**10月31日(木)(必着)**までに学会事務支局までお申し込み下さい。

◆大会期間の昼食について

土曜日曜ともに大学の食堂および購買部が営業しており利用可能(営業時間 11:30-14:00)です。ぜひご利用ください。当日は会場周辺のランチマップを受付で配布いたします。休憩室での飲食も可能です。

◆懇親会の申し込み

懇親会へ参加ご希望の方は、大会当日に受付でお申し込み下さい。参加費は、一般 5,000 円、学生 3,000 円を予定しています。

◆大会予稿集の販売について

大会予稿集は、大会当日に受付にて販売します(1部 2,000 円)。大会前の予約・購入は受け付けていません。

◆保育室の設置

本大会では保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、**11月12日(火)**までに保育室担当宛にメールでお申し込み下さい。

- ・利用可能時間：11月23日(土) 12:45-18:15, 11月24日(日) 9:45-16:45
- ・料金：お子様1人1時間につき500円

◆車椅子の利用について

ご利用希望の方は**11月15日(金)**までにお申し込み下さい。(申込先: lsj147kcufs@gmail.com)

◆手話通訳について

手話通訳をご利用希望の方はお早めに学会事務支局までご相談下さい。

◆書籍展示

書籍展示は、学舎1階101号教室、102号教室(予定)で行います。

◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

大会予稿集および『言語研究』のバックナンバー購入をご希望の方は、「号、購入部数、送付先」を明記の上、学会事務支局までお申し込み下さい。代金は送付時に同封される振込用紙にてご送金下さい。

また、今大会の予稿集も、残部がある場合購入していただくことが可能です(送料込みで1部 2,500 円)。

※在庫情報は学会ホームページをご覧ください。学会事務支局までご連絡下さい。

◆クロークの設置

本大会ではクロークを設置します。詳しくは当日の表示をご覧ください。

◆資料展示コーナー

会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用下さい。(配布物は当日受付にご持参下さい。)

なお、大会第1日目(11月23日)は構内で授業が一部行われております。ご注意ください。

次回大会予告(2014年春季大会:第148回大会)

場 所: 法政大学(〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1)

日 程: 6月7日(土)~6月8日(日)

公開シンポジウム, 口頭発表, ワークショップ, ポスター発表

研究発表募集: **学会ホームページから発表申し込みができます。**

- ・発表応募締め切り **2014年3月20日(木)(必着)**
- ・採否通知 **2014年4月中旬**

問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacos.com

